

# 倶楽部 趣味

## 釣りは自然や環境の奥深い意味を教えてくれる



モリ環境衛生センター 株式会社  
(西三河支部)  
代表取締役  
森 延博 さん

世界フィギュア選手権大会の金銀独占で注目を浴びる愛知の中でも、世界的知名度を誇る豊田市。その豊田市で有害生物管理と一般・産業廃棄物処理業を営み、多忙な日々を送るモリ環境衛生センター株式会社(豊田市月見町1丁目1番地5)森 延博さんに今回はお話を伺いました。

### 釣りと共に成長

趣味は釣りと伺いましたが、

森 はい。岩魚やあまご、鮎などの川釣りが好きです。3月には岩魚、あまごが解禁に、6月には鮎

が解禁になります。解禁前には毎日川を見に行ってしまう。

毎日ですか?本当にお好きなんですね。ということは、ずいぶん長い釣り歴ですか?

森 釣り歴というか、元々地元矢作川が流れていますから、子供の頃から川が遊び場でした。その頃はハエ釣り、フナや雑魚を釣っていましたが、自分が成長すると共に釣りに対しても「もっと難しい釣りをやりたい」「もっとおいしい魚に挑戦したい」と思うようになり、仲間と共にチャレンジしてきました。

まさに釣りと共に成長している感じですね。

森 そうですね。今でもその頃の仲間とは釣りの話をします。

そうするとやはりお仲間と釣りにお出かけに?

森 いいえ。釣りはほとんど1人でいきます。鮎釣りは川に行けば知り合いもいますが釣る時は1人です。

そういえば川釣りは1人というイメージですね。

森 実は私には釣りのイメージがあるんです。例えば夏、船に弁当と水筒をのせ、真夏の太陽を浴び汗だくになり、せみの声を聞きながら釣りをします。疲れたら涼しい橋の下で昼寝…というものです。

もしかして冬のイメージも?

森 ありますよ(笑)。長靴で雪をザクザクと踏みしめながら川に向



かい、静寂の中、竿を投げる。シーンとした中でビクッと仕掛けが動く時の感動といったら…。

どちらもとても絵になりますね。森さんがその1コマにピッタリマッチしてる姿が目浮かびます。

森 ありがとうございます。

### 竹竿にもこだわり

ところで船とおっしゃいましたが、川で船ですか？

森 はい。矢作川での鮎釣りは50歳の頃に漁協のメンバーに誘われ、始めました。立ち込みという釣り方の人も多いですが、私は船です。

船は1人乗りですか？

森 7メートルくらいの船ですが1人乗りです。船の後方に立ち、竹竿でコントロールします。

竹竿ですか？

森 そうです。竹竿も自分で選びます。川の船は漕ぐというよりも竹のしなりと腰で進めていくので、竹を選ぶのも大切なポイントです。目的のポイントに正確に進



めるためには腕はもちろん竹選びから始まっているんです。

力で進むわけではないですね。

森 そうです。ですから、竿が固すぎてもいけません。節の間隔が狭く、しなりのよい3年以上の竹が一番いいです。

なんだか1つ1つにこだわりをお

持ちのようですね。それにしても釣りはもちろん、船の操作もとても難しそうですね。

森 帆先のコントロールが思うようになるまでに5年かかりました。ポイントを目指しても思うようにコントロールできず、立ち込みの人たちの間を謝りながら流されたこともあります。





鮎の遡上

それは大変ですね。ところで船は上流も下流もその竹竿で進むんですか？

森 はい。下流に進む時、一般の方は帆先が下流を向くと思いませんか？

ええ、進む方に帆先が向いてるイメージです。

森 違うんですよ、帆先はいつも上流を向いていますから、川を下る時は後ろ向きになります。この船の操作は、まだまだ奥が深いですね。

ポイントは岸で決めてから行くんですか？

森 ポイントは季節によっても違いますが、ほとんど毎日川を見ているから、だいたいわかります。ポイントで錨をおろしてその周り

で釣りをします。鮎釣りは仕掛けも釣り方も複雑ですから、まだまだ勉強中です。

釣果はご家族で？

森 いえいえ、もう家族には不評です(笑)。でも毎年鮎を楽しみにしてくれている知人も多く、知り合いに配っています。喜んでいただけるのは嬉しいですね。

### 川は自然のバロメーター

お話を伺っていると、川を知り尽くしてるという感じですね。

森 川を見るのが好きなんです。川を見ているとどんどん世界が広がっていきます。例えば気象状況の変化や自然環境にも敏感になります。

環境…まさにお仕事とつながりそ

うですね。

森 例えば去年は1ヶ月冬が遅れました。そうすると山菜など土から出てくるものは半月、鮎の遡上も1月遅れました。雨が多かったとか、気温が高かったなど普通の人は忘れてしまうことも体感で覚えています。川は自然のバロメーターなんです。

何だか自然の大切さも感じられますね。森さんにとって釣りとは何ですか？

森 そうですね、私にとって釣りは人生の潤い、なければ生きていく意味がないといえるくらいのもので。心の中の半分は魚釣りですね。

半分ですか？

森 半分です。自分が死ぬ時は鮎釣りの時期が終わった秋がいいなとさえ思っています。解禁前ですと心残りですからね(笑)。

本当に釣り中心ですね。今日はありがとうございました。

魚釣りから幅広い視野で環境などを見守る森氏。どうぞ今後とも川、魚と共にさらなるご活躍をお祈りしています。お忙しい中、ありがとうございました。